

交通局予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
観光地における優良デザイン共同バス停整備事業	<p>自動車交通に過度に依存しない「歩くまち・京都」の実現に向けた公共交通機関の充実を図るため、交通局と民間事業者とが連携して、市民及び観光客の足を守り、利便の向上を図るという、共同の取組の第一歩である。</p> <p>平成19年度中の地下鉄東西線天神川延伸を機に、嵯峨・嵐山地域内のバス停施設の共同化、デザイン化を図ることにより、地域交通の充実、利便性の向上、地域景観の向上を図り、嵯峨・嵐山地域にふさわしい景観に配慮したデザインを施すことにより、観光客をはじめ誰もが分かりやすく安心して利用できるようにする。</p> <p><成果目標> 観光客5千万人構想への寄与、地域景観の向上 バス停の共同化による利便性向上 市バスをはじめとする公共交通機関の利用促進 地下鉄東西線延伸を契機とした地下鉄の乗客増</p>	19,000	<p>公民等役割分担の検討</p> <p>既存施策との整合性検討</p> <p>事業内容・実施手法の検討</p> <p>後年度財政負担の検討</p>
市バス・地下鉄利用の外国人観光旅客等への観光案内	<p>「新京都市観光振興推進計画」の大きな柱の一つとして位置づけられている外国人観光客の誘致の取組を推進する。</p> <p>春と秋の観光シーズンや四大大行事等の一定期間、京の玄関口である京都駅の地下鉄案内所及びバスターミナル近辺に観光案内コーナーを設置のうえ、外国語対応要員を配置して、外国人観光旅客等に、市バス・地下鉄案内にとどまらず、観光案内を行う。</p> <p><成果目標> 外国人観光旅客等の利便性向上（受入環境整備） 市バス・地下鉄における旅客案内機能の向上 観光客5千万人構想への寄与</p>	3,000	<p>公民等役割分担の検討</p> <p>既存施策との整合性検討</p> <p>事業内容・実施手法の検討</p> <p>後年度財政負担の検討</p>
ICカードを活用した商業連携の取組に対する補助	<p>「クレジット機能付のPiTaPaカード」を発行し、きょうと情報システムの「レール&ショッピング」に参加することにより、ショッピング利用と交通利用を連携させ、運賃還元による公共交通機関への誘導やPiTaPaの広域ネットワークを生かした商業施設の活性化を図ろうとするものである。</p> <p>要求内容としては、「クレジット機能付のPiTaPaカード」に関するPR費用、システム開発費用である。</p> <p><成果目標> 地下鉄における増収・増客効果 PiTaPaカードの広域ネットワークの活用による商業施設の活性化 公共交通機関への誘導による地球温暖化防止対策</p>	30,000	<p>公民等役割分担の検討</p> <p>既存施策との整合性検討</p> <p>事業内容・実施手法の検討</p> <p>後年度財政負担の検討</p> <p>〔「歩いて楽しいまちづくり」施策の一環として都市計画局で予算措置する〕</p>

この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。